

広げよう たすけあいの輪

どりーまあ通信

第4号 新年増刊号
どりーまあサービス
〒770-0939 徳島市かちどき橋2丁目28の4
☎088-626-3237
発行責任者: 山口浩志
1999年1月

一周年記念

昨年には会員の皆様をはじめ、多くの方々のおかげで充実したみのりある年を送ることができ、本当にありがとうございます。ありがとうございました。

本年は二十世紀最後の年であり、二十一世紀に向けて社会は今より大きな激動の中にあります。恐らく、どの世代の人にも共通しているのは、自分の生活や将来にまた社会に対して「不安感」を持っているということではないでしょうか。私達は、誰もが安心して在宅で生活しているための支援を心がけていますが、実際の活動に携わっていると、一人の利用会員さんへの援助が、必ずしもそのご家族全員の喜びにつながる、とは言いきれない状況もあります。いつの時代になっても、問題がなくなることはないでしょう。けれど、

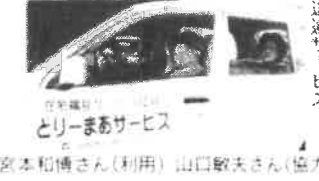


謹賀新年



活動報告

- 9・1 (火) ケースについての連絡調整会議 (於: 徳島保健所、3名出席)
- 9・4 (金) ケースについての連絡調整会議 (於: 徳島教会、3名出席)
- 9・19 (土) 精神保健福祉講座 (於: 徳島保健所、8名出席)
- 9・26 (土) デイサービス さらだ
- 10・6 (火) 精神保健福祉講座 (於: 鴨島保健所、1名出席)
- 10・15 (木) ケース検討会議 (於: 健生さわやか支援センター、2名出席)
- 10・17 (土) 精神保健福祉講座 (於: 徳島保健所、5名出席)
- 10・21 (水) 精神保健福祉講座 (於: 作業所アトリエひまわり見学、2名出席)
- 10・30 (金) ケースについての連絡調整会議 (於: 県総合福祉センター、4名出席)
- ボランティア団体
- リーダーネットワーク会議 (於: 徳島保健所、1名出席)
- 11・4 (水) 精神保健福祉講座 (於: 鴨島保健所、1名出席)
- 11・8 (日) デイサービス さらだ
- 11・18 (水) 法人設立準備委員会 (於: 県総合福祉センター、5名)
- 11・23 (月) 徳島県ボランティアフェスティバル (於: 文化センター、6名参加)
- 12・4 (金) ケースについての連絡調整会議 (於: 徳大附属病院、2名出席)
- 12・8 (火) 法人設立総会 (於: 県総合福祉センター、10名出席)
- 12・10(木)~12(土) リーダー研修会IN大阪 (於: 大阪東急イン4名出席)



利用者の身体状況別

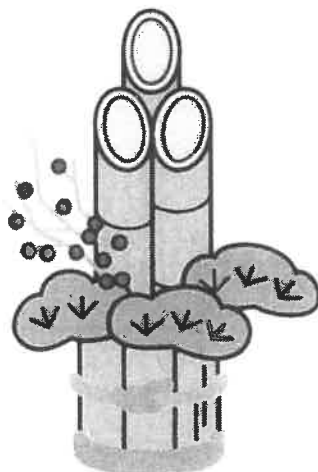
高齢者・ほぼ自立	7
高齢者・虚弱	32
高齢者・準寝たきり	10
高齢者・寝たきり	6
高齢者・痴呆	2
身障者(児)	11
精神障害者	5
視力障害者	9
合計	82名

活動時間数

	介護	家事	移送	計
10月	156	125	81	362
11月	323	74	129	526
12月	234	422.5	58	714.5
計	713	621.5	268	1602.5

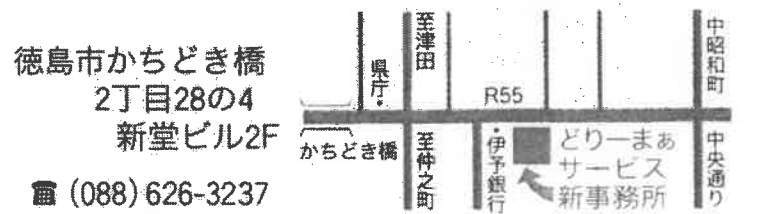
地区別・形態別表 平成10年12月20日現在

地区	形態	利用会員	協力会員
徳島	市町内	53	23
徳島	市町外	7	9
徳島	市町外	1	1
徳島	市町外	1	2
徳島	市町外	7	1
徳島	市町外	2	2
徳島	市町外	2	4
徳島	市町外	5	2
徳島	市町外	2	1
徳島	市町外	1	5
徳島	市町外	1	1
徳島	市町外	1	1
徳島	市町外	1	2
徳島	市町外	82名	52名



インフォメーション 事務所移転します!!

平成11年1月から新しいオフィスでのスタートとなります。お近くへお越しの折にはぜひお立ち寄り下さい。

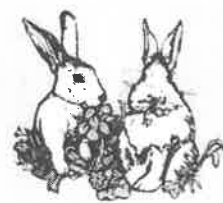


平成十一年は己卯年となります。十千の六番目の己は「起ころ」の意があり、秀でたものは抑えられていても、起きあがることをいいます。十二支の四番目である卯は「さかん」の意があり、草木が盛んに成長し、枝葉も次第に壮んになる

己卯 うちのとう 様を表します。以上のことから、今年には新しい時代に向けて地球規模のあらゆることの清算と見直しが要求されま

おいても二十一世紀のための新しい世界的規範が必要となります。

す。政治や経済の在り方から始まり、科学分野や教育分野に



新しい年を迎えて、どりーまあ通信第四号をお届けします。今回は、特に堀田・佐藤尚先生にお願いで下稿をいただきました。厚くお礼申し上げます。また、ご投稿やお話を承った中から、日常生活で身近な親しみやすいと思われるものを随所に掲載させていただきました。ご協力下さいました方々に心よりお礼申し上げます。

糊利きし仕事始めの白衣 草灯

賛助会費

森永	平間	永井	藤井	藤井	石本	桜川	忠津	西脇	麻野
良二さん	一さん	英彰さん	幹夫さん	和治さん	卓次さん	寛さん	英夫さん	常子さん	新一さん

信子さん

県立ひのみね整肢医療センター 障害児(者)地域療育等支援事業コーディネーター



酒井 満さん

地域の声

先日、電動車椅子を使っている友人から、「出かけたところがあるけど、タクシー代がけっこう要ったり、公的サービスの利用では書類手続きや、運転者を確保する必要があったり大変なので、あまり出かけていない…」ということを知りました。

そこで、私の持っている在宅支援の情報の中から、『どリーまあサービス』というシステムがあるので電話してみて希望に合っていたら利用したら…」と話しました。

数日後、電話が入り「動物園に行っても楽しかった。これからもぜひ利用して出かけてみたい」と喜んでく

れました。
最近では公的なものだけでなく、民間のサービスも充実して来て、利用する人にとっては選択肢が増えたように思います。いろいろなサービスが重層的にあり、利用する人の考え方や価値観などで、その時々に応じてどれを利用するか決められることが、使い勝手の良さだと思えます。



泉北たすけあい 会長

佐藤 秀次

「在宅福祉サービス」の二つのポイント

少子・高齢社会に入って在宅での福祉サービスの要望が日毎に増えてきている。法律による行政の福祉サービスだけでは到底まかないきれない。そこで市民自身の手で自前の在宅サービスの活動が全国各地で生まれている。その活動を通じて解ってきた二つのポイントを挙げてみると次のようになる。一つは現在サービスを受けている高齢者の多くは大正生まれの人が殆どであるがこの人達は過去において自分の身内(家族)

(財)さわやか福祉財団 理事長

堀田 力

どリーまあサービス 設立一周年心よりお祝い申し上げます。
だれもが心豊かに暮らしていける『ふれあい社会』づくりを目指して、現在、全国各地で地域市民の方々が支えあい助け合う活動を展開し始めています。
従来は、一方的に「待つ福祉」あるいは、「与えられる福祉」だったこの分野も、急速に到来する高齢社会に対応していくために、「参加する福祉」の時代に入りました。
たとえ、在宅サービスが必要な

方々であっても、何らかの形でサービス提供者にもなり、また、多くの高齢者が参加し、自治会はじめ、婦人会、町内会が、さらには、勤労者や学生・生徒などの多層の市民が参加し活動していく、貴会のような市民互助型団体のありようが、今後、大きく世の中を動かしていく要となっていくものと思われまます。
このたび、愛情の論理によるボランティア精神を機軸とした相互扶助の市民活動を徳島の地に展開していかれますことに、大変心強い思いが

いたしております。
フォーマルな、あるいはインフォーマルな社会資源を活用し、緩やかなネットワークを通じて、非営利事業体としての市民互助型団体から各方面に発信し、提言していくことが、今後の課題であろうかと存じます。
大海原に向かって着実に帆を張って航海するがごとく、ひと味違った即応性に富んだ、しかも柔軟で先駆的・創造的な活動を展開なされますことを、心より期待し、お祝いの言葉に代えさせていただきます。

の世話をしたことがあるが他人の家に行つてサービスを提供したことが無い人達である。従つてサービスを求める立場になつて自分の要求は言えるがサービスを提供してくれる人の「気持ち」を汲み取ることが出来ないとある。このことは、経験が無いことである。このことは、経験が無いのだから当然のことである。だが、このことが「在宅サービス」の現場を難しい状況におとしこんでいることも事実である。二つ目のポイントは一つ目の逆で他人の家に入つてサービスを提供するということが即ち

「たすける」ということは自分自身の高齢期のためにもとても貴重な経験にもなる事柄で逆に相当な授業料を払つてもよい行為である。これからはどんなに工夫しても家族介護だけでは乗り切ることが出来ないことは誰でも解っていることである。誰でも解るならば一日でも早く健康な時に他人のサービスに入つていられる経験が積むことが重要なことである。「たすける」ことが「たすけられる」ことでもある。「お互いさま」の社会を大事にしていききたいものである。

特集 この人

『よっしゃいくでよ!!』



左から 喜馬さん・松本さん・多田さん

どリーまあ副会長の多田さんと、大阪でのリーダー研修会に参加することになりました。研修会そのものも大きな収穫があったのですが、食事や移動中にうかがう多田さんの話もまた、印象深いものでした。

何事にも、自分の考えをはっきりと話され権力や地位に惑わされない態度には、長年看護婦として「命」に携わってきたブライドを感じさせます。東京での大空襲で、「自分は余命わずかだけど、若いあなたは生きなればならない。ひとりで逃げなさい。」と言う患者さんを、ひきずるようになってひっぱって逃げまわつたそうです。看護婦としての使命がそうさせたのでしようか?それだけではないように思うのですが、「人間は、苦勞すればする程強くなれる、だから、がんばっている人をつい、応援したくなる」とか。活動会員としても活躍されている理由は、こんなところにあるのかもしれない。多田さん、生ビールのジョッキ片手に、またいろいろなお話を、聞かせてください。
リポーター 喜馬 理 佳

愛の車イス専用車輻



夢ふれあい



どりーまあサービスでは、この車輻を、施設・病院への送迎・買い物・お墓参り・デイサービスさらだの送迎等、どんどん稼働して会員の皆様に喜んでいただきたいと思います。

ドライバーの皆様、これからもよろしく!!



はな七福祉サービス団体
どりーまあサービス

寄贈決定!!

この度、日本財団(曾野綾子会長)より、どりーまあサービスに、マツダANワゴン(アイ)が寄贈されることになりました。

清潔・味まん・手造り
お弁当毎日お届けいたします

お弁当の夫婦石

徳島市多喜良町中津
TEL (088) 645-0046

おいしいお弁当が当店の自慢
各種行事の仕出しも承ります。

在宅歯科治療 応需

石本 歯科医院

受付時間 午前9:00~12:30
午後2:30~6:00
休診日 木曜午後・日曜・祝日

☎42-8850
徳島市市府町中713-6

手づくり心をこめて
お弁当とおそうざいの「さわ」

ご注文・ご予約は
金沢工場/徳島市安部2丁目101-5
☎(088) 636-0088 FAX(088) 636-0087

徳島支店/徳島市昭和三十九丁目20-10
☎(088) 652-2488 FAX(088) 652-2489

両国店/徳島市高田1-5-2
☎(088) 653-6644 FAX(088) 653-6645

みんなの広場

八十九歳の親父が庭木の手入れ中に落下して病院へ運ばれてから、そろそろ一年になる。

当初は家政婦紹介所に頼み昼間だけ派遣してもらい、夜は長男の私が付き添うという生活が一ヶ月続いた。そのうち親父の足がふらつき出し方向感覚もおかしくなるとも睡眠不足となり、続行が無理となった。そこでショートステイを利用してもらったが親父の言動がおかしくなり退所を求められて一般病院へ送った(一ヶ月十五万円)。後でわかったことだが、徐々に落下の後遺症で後頭部に血がたまっていたのだ。中央病院に慢性硬膜下血腫で入院する事四十五日。この間は昼間家政婦に付き添ってもらっていた。一般病院に逆送され九ヶ月後に新築したバリアフリーの家へ連れ帰った。昼夜通して家政婦についてもらえば安心だが月に七十一万八千円もの費用がかかる。そこで徳島市役所の担当課・県看護協会に相談を掛け、公的援助を受けられるところまではできるだけ受け、残る時間を自分で埋めたいと考えた。

手探りの介護サービス利用

永井英彰さん(徳島市) 株地域サービス 代表取締役

みんなの広場がある。常に家人がいてデイサービスで連れ出してくれている時間、訪問看護で見てくれている時間だけ自由になることでメリットのある場合もある。反面、一人住まいに近い場合はコマ切れのサービスだけではどうにもならない。早朝、夜のおしめ交換の他に日中のおしめ交換をどうするか、食事、洗濯をどうするか、緊急の場合の連絡体制等々である。それにおしめ交換ひとつとってみても例えば家人がいてもなかなかできない。体重六十キロの赤ん坊がむずがっているようなもので自由が効かない。

そこで必要なのがタイムテーブルの作成。つまり一週間の曜日ごとに午前六時のおしめ交換から朝食、洗濯、昼食、掃除、夕食、その間及び午後十時のおしめ交換まで誰がするか、家人は何をするかを細かく表にしてほしいのである。その上でどこまでのサービスを受けると費用がいくら、と明示してもらえるとありがたい。

サービスを受ける側でそれぞれに交渉して決めるのは無駄が多い。そこで「支援センター」に相談すればそこでこちらの事情に合わせてタイムテーブルを作成して欲しいのである。「支援センター」は公的機関でも私的機関でも良い。

介護は相手の都合に合わせてなければならないし、地味でエンドレスの仕事である。それだけに、親父の介護に手を貸してくださった皆様には心から感謝している。

前田さん
三友会支援センター

ケアハウスやまもも
ヘルパーさんたち

ふれあい日誌

朝日がまぶしすぎるほど日当たりの良いダイニングルーム。窓辺に飾られた蘭の花が、気だるさの残る永井家に一日の始まりを告げてくれる。そんな中「おはようございます」と、早朝の炊事にボランティアさんが訪れると迎いはた

「怒りは敵、艱難はむじ長急のもとい。辛抱すれば必ず道は開ける。簡単にくじけてはあかん。」 (辨一氏)

ちまちにぎやかに井家に訪れるワーカーの人は、どの人も明るくさわ

喜田さん
(ボランティア)

櫻川さん(ボランティア)

まいペース徳島



「絵を描いていると、くしゃくしゃと思うことも気が紛れてすうつとする。楽しいな。」と自慢気に話す素振り

ちぎり絵は79才からは、年齢を感じさせら始めて今年で5年目になります。2年前から色鉛筆を使っている。いろいろな人に見てもらうと、時々ほいほいというくらいにプレゼントしたりして

田中花子さん

「ワ」と、生粋の浪速っ子である田中さん。気さくで、竹を割ったような性格とは裏腹に、意外とロマンチストなのかも…。

上田恒雄さん

リキちゃんはS56年生まれで、くりくりしたかわい目のダックスフンドでした。初めて我が家へお見えしたときはいたずらっ子(犬?)でチョコチョコねずみみたいに動き回って、私たちをよく困らせていました。だけど、車



《玉手箱》

で一緒にドライブしたり、どこに行くのも一緒だど、いつからか立派な「家族」の一員となり、時には私たちが励ましてくれたりもしました。しかし、時の流れははかなく、リキちゃんにも老化を止

天国へ行ったリキちゃん

めることはできません。歯の欠損、視力低下、そして足元も不安定となり、結局老衰で平成10年4月16日、天国へ旅立ってしまいました。今はジュンちゃんがお目見えして、また新しい「家族」をつくっています。私たちが玉手箱にそっとしまっています。

福祉の窓

「介護支援専門員」(ケアマネージャー)



要介護度とサービスの目安 (H10.11.30.日経新聞より)

要介護区分	サービス事例
自立	介護保険によるサービスはなし。
要支援	機能訓練が必要で週2回の通所リハビリ利用。
要介護(1)	排せつ、入浴、衣服の着脱などに一部介助が必要で毎日何らかのサービスが利用できる。
要介護(2)	排せつ、入浴などに一部または全介助が必要。週3回の通所リハビリも含め、毎日サービスが利用できる。
要介護(3)	排せつ、入浴、衣服の着脱などに全介助が必要。巡回訪問介護を含め、1日2回のサービスが利用可能。痴呆では週4回の通所リハビリを含め毎日。
要介護(4)	全面的な介助が必要で1日2～3回のサービス利用が可能。痴呆では週5回の通所リハビリを含め毎日。
要介護(5)	全面的な介助が必要。早朝、夜間の巡回訪問介護を含め、1日3～4回のサービスが利用可能。

介護保険サービス実施の「要」

介護支援専門員(ケアマネージャー)の役割

一、介護保険の申請者について調査する「調査員」になることができます。

二、要介護者がケアプランを立てることを支援し、相談のり、ケアプランを立てます。介護支援専門員は、要介護者のいる地域の状況(社会的資源)を知っており、それらをすべて活用する能力があるかどうかということが決まることが求められています。

定期的な重要な意味を持つでしょう。たとえば、配食サービスや移送サービスは「介護保険制度には含まれていませんが、地域にそうしたサービスを行うボランティア団体があることを知っているかどうかで、ケアプランの立て方が大きく違ってきます。

ケアプランの作成は、介護保険の枠内・枠外のサービスや活動を有効利用

代表 山口浩志

介護支援専門員 実務研修試験合格!!

ゆめ・未来宣言

お二人が出会ったのは、小学校のPTA活動がきっかけでした。趣味も似通い、共通の話題も多かった。お二人は、以来、お互いに仲良く励まし合っています。ボランティア活動については、「障害をもつて頑張っている方々の趣味を生かすお手伝いをして、



潤いのある人生を送ってもらいたい。」と微笑みながら木村さんが話せば、岡田さんは「とにかく相手の要望に自分の持ち味を

Enjoy Printing

デジタル・ワークで新たな世界を印刷します。

磐坂東印刷

●営業本部・工場
〒776-0001 徳島県麻郡鳴門町牛島3043
TEL(0883)24-2234 FAX(0883)26-0535
E-mail bandou@mandala.ne.jp

NATURAL LIFE

有限会社 ナチュラルライフ

本社 徳島市市浜町3丁目63番地1
TEL・FAX(088)626-4451

球根・鉢花の オランダ館

株式会社 オランダ館

板野郡藍住町勝瑞(勝瑞城跡前)
TEL(088)641-1211・FAX(088)641-2651

訪問鍼灸マッサージを受けてみませんか?

健康保険制度の適用を受けるには

①現在、医師の往診及び訪問看護等のサービスが利用されている方
②手足の筋肉のマヒや関節痛、歩行障害等の症状がある方。

詳しくは、下記までお問い合わせ下さい
☎0883-24-1892

在宅にて療養の方に
日々のマッサージはリハビリの第一歩です
法人 徳島県鍼灸マッサージ師会 どりーまあサービス

徳島県中小企業 経友会

事業協同組合

理事長 藤井和治

〒770-0856 徳島市中洲町1丁目63番地 藤井会計ビル4F
TEL(088)653-2700・FAX(088)653-5553

健全経営の確かな指標

公認会計士・税理士 藤井会計事務所

〒770-0856 徳島市中洲町1丁目63番地
TEL(088)653-1717代・FAX(088)654-4452
(監査・税務申告・経営指導・保険・登記)